

理工同窓会だより

理工同窓会長 就任にあたって



理工同窓会長
岩崎 征一
(理・建・S46年卒)

理工同窓会の皆様、会誌の発行にあたってご挨拶申し上げます。平成22年度からの理工同窓会長にご指名をいただいた岩崎でございます。

理工学部同窓会創立49年、卒業生6万人の会員をかかえ、長い歴史に培われたこの同窓会の風風を継承し各9学科の卒業生の為の情報交換・交流・親睦、そして大学への貢献・社会への奉仕の為に努力を惜まず活動させていただきます。

今までの間、校友会・7学部同窓会・理工同窓会・建築同窓会に席を置き、其々の団体の特徴を学んできました。その中で中心的存在である事を自他ともに認める理工同窓会がより効果的に活動する為には長期的目標を定めなければなりません、長期的目標を立案する事によってその年度の効果的な年次目標が決まれば、同窓会事業の方向性も定まり全会員がその目標に向かって活動できます、そしてその活動は会員の結束につながりその力はより一層高度な同窓会活動となります。

私は任期中の活動方針のテーマを「絆を深めよう」とし、次の5項目の活動目標を同窓会活動の軸といたします。

1、理工同窓会会員相互との「絆」

各9学科の其々の学科毎の交流は目を見張るほど纏まりがあり素晴らしいものがあります、加えて9学科全体の同窓会の交流を大きな目標にします。

2、理工学部後援会との「絆」

在学生は将来の理工学部同窓会の発展のかなめです、在学中の学生諸君に同窓会の存在とその価値観を認知してもらう為に、後援会の協力を得なければなりません、具体的にはまず第一に後援会との交流に努力します。

3、大学振興推進室の職員方との「絆」

理工同窓会の活動とその発展は我々だけのボランティア的活動範囲だけでは限りがあります、卒業生である我々は大学の運営に携わる皆さん方の考えを理解しなければなりません、具体的にはまず職員

の皆さんとの交流の場を設けたいと思います。

4、校友会との「絆」

本来、理工同窓会活動と校友会活動は其々別々の目的を持っていなければならないが、最終的目的は名城大学の発展に寄与する事では異論を挟む余地はありません、そしてお互いに情報交換を密にし其々の発展のために協力し合わねばなりません。理工同窓会の伝統ある活動方針を維持しながら校友会との絆を深めねばなりません。具体的には第一に校友会の事務機能と同窓会の事務機能との連携が必要であると考えます。

5、他6学部同窓会との「絆」

法学部同窓会・経友同窓会・農学部同窓会・薬学部同窓会・都市情報学部同窓会・人間学部同窓会の皆さんは、同窓会として其々の特色ある活動を行っています、全学部としての交流の場は限られた会員の中で行はれている推測されますので、この絆を大きく広げ大きな交流の機会を作ります。

◎名城大学理工同窓会

総会・記念講演会・懇親会の報告

名城大学理工同窓会の総会・記念講演会・親睦会が梅雨時の天候の悪い中、平成23年6月19日(日)に開催され、多くの皆様に参加して頂き誠に有難うございました。皆様のお陰を持ちまして、盛大に開催され大きな問題もなく無事終了致しましたことに、役員一同深く心より感謝しております。

当日の総会・記念講演会・懇親会は、次第のとおり実施されました。

1. 理工同窓会総会 10時30分～11時20分

2. 記念講演会 11時30分～12時45分

講師 名城大学 人間学部 教授 水尾 衣里 先生
演題 「都市と建築の未来」

3. 懇親会 13時～14時30分

タワー75 15F レセプションホール



総会において岩崎会長から開会に先立ち、去る3月11日に発生いたしました東日本大震災で亡くなられた方々に深く哀悼の意を表するとともに、被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。また、土木会の会長で理工同窓会の副会長である河合紀様がご逝

ご挨拶



理工学部長
安藤 義則

理工学部長の2期目を勤めさせていただいております安藤と申します。日頃は、理工学部の活動に種々の面からご協力いただき、誠にありがとうございます。今日の理工学部の繁栄がありますのも、同窓会の皆様のご努力とご活躍があればこそです。早いもので、理工学部がそれまでの6学科から、情報科学科、材料機能工学科、環境創造学科の3学科が加わって、9学科体制に変わった平成12年から既に10年を経過しています。

この10年間の理工学部の主な動きをお伝えしておきます。まず、情報科学科では、学生の3/4が情報工学コースを選択するにもかかわらず、学士(理学)の学位しか授与できないことが明らかにになり、それでは不都合であることから4年後に学生定員も増やして情報工学科に改組しました。その時同時に入試の形態として、それまでの学科別入試から、学科を決めないで入学して1年後に学科を決める系入試に変えました。しかし、入学してくる学生さんの7割は入りたい学科を決めて入学してくるということから、4年後には7割は学科別入試で、残りの3割だけ

を系入試とする部分的な系入試にして、現在もそれを続けています。しかし、系入試を続けている限り、学科の決まっている学生と決まっていなかった学生を一緒にしたクラス編成をせざるを得ません。それでは、いろいろと教育上の弊害もあることから、平成25年4月から系入試を廃止して学科別入試だけにすることを決定して、それに向けたカリキュラム編成を現在行っているところです。また、平成15年から工学系の学科では、日本技術者教育認定機構のJABEE認定を受けるという取り組みが始まり、昨年最後の工学系の学科として情報工学科がその認定を受け、本年5月にそれが認められました。ということで、現在、数学科を除く工学系の8学科がJABEEの認定、継続認定を受けることができています。技術士の卵を送りだすことができるようになっていくという訳です。

入口と出口という観点からしますと、入口の本理工学部への受験者数という点では、ここ3〜4年、延べ3万人前後という安定した状態を保つことができています。出口の就職という点では、2年半前の世界的なリーマンショックの前後で大きく様変わりしています。今では大学院の修士課程修了の学生も就職では苦労している状況が続いています。そこを乗り越えた学生諸君が、同窓会メンバーの起点になってくれるわけです。

本年からの理工学部での目立った動きをご紹介しますと、一つは、交通科学科が交通機械工

学科に名称変更しました。これは、交通科学科という名称では、機械系の学科であるという認識をしてもらえないため、受験生も集まらず、就職でも不利を被っていることから、はっきりと機械系の学科であることを認識してもらおうとするものです。また、実行が遅れていた研究実験棟Ⅱの着工が、いよいよ今月スタートします。これは、塩釜校地に建設する建物で、平成25年4月から供用が開始されます。そこには、現在の4号館関係の材料機能工学科、建設システム工学科、環境創造学科、建築学科そして教養教育の先生方が移ることになります。

もう一つ大きな動きとして、建設業界の社会的趨勢から建設システム工学科の学生定員130名は多すぎるので、30〜50名の学生定員減をしなければいけないということが3〜4年来の喫緊の課題とされてきていました。その解決策として、新しい学科を作って建設システム工学科の学生定員減を補おうということになり、新学科としては化学系の新学科とメカトロ系の新学科の2学科を作ることが今年の3月の教授会で認められました。平成25年4月の新学科開設に向けて、準備を進めているのが現況であることをお伝えしておきます。この原稿の提出も2カ月ほど前から依頼されていたのですが、この新学科の準備に追われて、ぎりぎりなっ

てしまったことをお詫び致します。

その後、来賓者の紹介があり、中根学長の都合がつかなかったの代わりに小林副学長より、名城大学の現状と今後について、厳しい状況となるため同窓会との絆を深めたいとお話を頂きました。ただ残念であるのが、大変好評で同窓会並びに地域の皆様が多く参加されていた名城大学Dayが、東日本大震災の影響で取り止めになるが、名城大学は東日本大震災への援助および支援ボランティアを未だ継続的に行っており、心強い言葉を頂きました。安藤理工学部長より、理工学部の現状と今後について、現在の4号館が新設されること、交通科学科を交通機械工学科へ変更すること、およびメカトロニクス科と化学に関する学科を新設とのお話を頂きました。また林校友会会長より、いつもの名セリフ「早稲田」「慶応」「名城」と有名な大学・校友会にしたい、理工学部は、卒業生の約3分の1を占めている名城大学を象徴する存在であるので、校友会の活動・大学支援には是非協力をお願いしたいとお話を頂きました。

記念講演会では、名城大学人間学部教授(工学博士)水尾衣里先生より、「都市と建築の未来」という演題で、世界の有名な建築の紹介とともに、歴史的建造物の現在における存在意義や、そういう建築が新しい都市づくりにいかに重要かについて話されました。そして、日本の現在の建築、特に公共建築については、長く愛され、また地域を代表する建築として未来への歴史を作る建築にはなりえない、それは現在の制度や規制が適切なものばかりではないということなど、現在そして将来の建築や都市についての危惧を語られました。

懇親会では、名城大学大橋理事長から名城大学の状況と理工同窓会へ就職等に関する支援のご協力についてお話を頂きました。名城大学常勤理事の板橋先生からより詳しい大学の状況と、特に理工学部は就職決定率が他の学部比べて非常に高いこと、理工同窓会へ大学支援のご協力についてのお話を頂きました。名城大学理工学部後援会会長の神谷様より後援会の活動を紹介され、乾杯を行って頂きました。大学関係、校友会関係、後援会関係並びに各学科同窓会の横への絆が深められる歓談となりました。

今後とも皆様のご健康およびご活躍を祈念するとともに、理工同窓会発展のためによりよくご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

なお、総会、記念講演会、懇親会の状況を写真にてホームページに掲載しますのでご覧下さい。

土木会

平成23年度総会で土木会の会長を拝命しました高木でございます。よろしくお願い致します。

土木会は今年で48年目を迎える伝統のある会です。また土木科・建設システム工学科の卒業生は10,000人程になります。この伝統ある土木会をより一層発展させるべく最善の努力を行う所存でありますので、土木会会員の皆様はもとより、理工同窓会を始めとする大学関係者のご支援ご協力をよろしくお願い致します。



土木会会長
高木 理仁
(理・土・S46年卒)

土木会の主な事業内容は、土木会誌の発行・年末情報交換会の開催・在学生に対する支援・学校に対する各種支援などを行っています。土木会は、平成26年50周年を迎えます。現在50周年記念事業として、記念誌及び卒業名簿の発行、更には記念植樹・記念式典を想定し、その準備に着手したところであります。土木会会員の皆様はじめ大学関係者の皆様には、今後色々お世話になると思いますが、何卒よろしくお願い致します。

年末情報交換会のご案内

開催日 平成23年11月25日(金) 予定
開 所 レセプションハウス名古屋通信会館

機械会

本年6月に会長に就任しました澤柳正道です。渡辺治比古前会長が海外赴任(中国)の為急遽の任命でしたが、渡辺前会長の路線を継承し、機械会と各同窓会及び校友会との親交に努めて参る所存です。まずは本年度の機械会の新役員を紹介させて頂きます。



機械会会長
澤柳 正道
(理・機・S41年卒)

◎機械会2011年度役員

会 長	澤柳 正道	S41	会計幹事	鳥居 一仁	S60
副 会 長	江上 登	S41		来海 博央	H7
副 会 長	松岡 道弘	S42	編集幹事	梅本 良作	S50
副 会 長	祖父江力三	S45		古川 裕之	教員
庶務幹事	福田 康昭	S42	会計監査	鈴木 吉正	S46
	鈴木 敏夫	S46		藤井 賢二	H1
	服部 友一	S55			
	蓮沼 義浩	S63			
	寺園 尚志	H2			
	天野 智	H10			

新春交流会のご案内

開催日 平成24年1月28日(土)
場 所 名古屋ガーデンパレス

交通機械会

会長を預からせていただき3年目を迎えました。

時代が変わり現在は、学生側が行きたい大学、勉強したい学科を選びます。私が勉強した時とは真逆の状態が現在です。この時代に即した魅力ある学科になるためにも、同窓生の皆様の支援が益々重要になっています。

昨年お約束しましたように各事業報告を左記のようにご報告申し上げます。



交通機械会会長
高垣 満正
(理・交機・S48年卒)

◎平成22年度交通機械会の活動要旨

大学と同窓会がより一層絆を深めるため、在学生、教員および交通機械会OBが参加できる事業を本年活動してまいりました。主な事業を紹介いたしますと、

9月には、在学生へ交通機械会の存在をより知ってもらえるよう企画しました、「ゼミ対抗ソフトボール大会」への事業支援として交通機械会杯を新設いたしました。

10月には、2年前から実施している現役学生との交流の場であるゼミ交流会を、今回は立食パーティー形式で開催しました。教員、在学生およびOB参加人員も増え、学生が社会人であるOBから生の声が聴ける有益な場になってきています。

2月に実施しました最大の行事である賀詞交歓会についても、年々教員、OB参加人員も増え、先生・OBまた他学部との有益な交流の場として定着するとともに、有識者を招いての講演会も開催しました。平成22年度は元ポッカコーポレーションの谷田会長様を招いて、80歳を超えても未だに衰えない創業者の持っている「積極進取」の生き方について感銘しました。

3月の卒業行事では、交通機械会会長賞を新設し、学業以外での学生行事等に貢献した学生を表彰しました。

また、交通機械会の社会貢献としてNZ大震災、東日本大震災への義援金の寄付も行いました。(理工学部交通科学科の授与式では、東日本大震災の義援金として、同学科の学生、卒業生ら8,000人が会員の「交通機械会」が、1人あたり50円、総額40万円の義援金を送ることになったことが大学HPで紹介されました。http://www.meijo-u.ac.jp/news_event/news/2010/1740.html)

今後もさらに、大学と同窓会がより一層絆を深めるよう、会員の皆さんの声に耳を傾け、有意義な事業を企画していく所存です。

講演、懇親会、賀詞交歓会

平成24年2月4日(土)午後5時～ 名古屋駅前 東天紅

電気会

◎名城大学電気会の活動紹介

1. 電気会総会 6月第3日曜日開催
2. 企業への求人活動の支援
OB企業への求人活動
3. 研究室対向ソフトボール大会支援とOBチーム参加、9月の土曜日に開催。最近では、若いOBが積極的に参加して頂いて役員一同喜んでいきます。
4. 名城大学電気会新春懇談会
1月第4土曜日 予定
5. 電気電子工学科
卒業式(卒業証書授与式)参加・卒業祝賀会共催卒業祝賀会
名城大学 グラン亭 16時～18時
卒業生・大学の先生・参加したOBから大変好評である。
6. 役員会、評議員会開催 1回/月
7. 卒業研究発表と電気会から聴講
8. 名城大学電気会ホームページ随時更新
電気会: <http://meijo-rikou-dousoukai.jp/denkikai/>
理工同窓会: <http://meijo-rikou-dousoukai.jp/>の学科同窓会からリンクする。



電気会会長
伊藤 栄
(理・電・S50年卒)

◎50周年記念誌発行

会員皆様で昔懐かしい写真およびエピソードがございましたら名城大学電気会事務局までお送り下さい。

<名城大学電気会事務局>

〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口1丁目501番地
名城大学理工学部 電気電子工学科内 電話 052-832-1151

第18回名城大学電気会新春懇談会のご案内

開催 平成24年1月21日(土)
場所 名古屋 栄 名古屋ガーデンパレス
16時30分より受付
第1部 ミニ講演会 17時～17時45分
講師 OB シーテック「風力発電について」
予定
第2部 パーティー 17時45分～20時



平成23年新春懇親会の様子

名城大学電気会50周年記念事業のご案内

開催 平成25年1月27日(日)の新春懇談会 第4週 日曜日 予定
場所 名古屋 栄 名古屋ガーデンパレス 15時30分より受付 予定
記念講演 CBCアナウンサー 小堀勝啓 予定

情報会

情報会は今年度で8期を迎える、まだ歴史の浅い同窓会です。そのため、代々その年度の情報工学専攻の大学院生が運営しています。

このように、まだ未熟な組織ではありますが、それだからこそ若い自分たちで歴史を造りあげていけるという醍醐味があると感じています。

本会では、OBの方も参加する研究室対抗のスポーツ大会、学科4年生の卒業研究発表会で、発表が優れている学生を表彰するベストプレゼンターコンクール、情報科の卒業記念パーティなどを開催しています。

現役の学生は、授業以外に学科全体で一同になって何かを行うという機会があまり無いため、学科内の知り合いはほとんど友人だけという方も少なくないかと思います。

こういったイベントを通して、まずは現役の学生同士が知り合ってもらうこと。それが同窓会を盛り上げ、成長させていく第一歩であると考えています。



情報会会長
坂井 孝太
(理・情・H21年卒)

環境会

名城大学理工学部環境会は、環境創造学科卒業生、環境創造学専攻課程修了生及び環境創造学科教員等をもって構成し、会員相互の交流・親睦を図るとともに学問の向上に努め、さらに名城大学理工学部環境創造学科の発展に寄与することを目的として活動しています。

会員は、平成16年発足から8年になり、約860名になりました。

◎平成22年度の主な活動

- 6月 環境会総会
- 2月 環境会懇親会の開催
- 3月 卒業生記念品・祝賀パーティ支援

◎平成23年度の行事予定

- 5月 環境会評議会の開催
- 6月 環境会総会
- 12月 環境会幹事会の開催

環境会の活動、行事の詳細については連絡いたします。会員多数の参加をお待ちしています。

今後の環境会活動を一層充実したく、卒業生の連絡先を連絡いただきますようお願いいたします。

<連絡先>

〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口1-501
名城大学理工学部環境創造学科事務所内
環境会 TEL 052-838-2062 FAX 052-838-2356
E-mail rkoffice@ccomfs.meijo-u.ac.jp

環境会はホームページを開設しておりますので是非ご覧ください。
(環境会で検索)



環境会会長
渡邊 穎造
(理・環境創造修・H16年卒)

建築同窓会

建築同窓会の会員の皆様方にはおかれましては、ますますご清祥のことと共に各地域、各界各層においてご活躍のこととお慶び申し上げます。

建築同窓会の会員数も12,000名を超える迄になり、各界にてその活躍が伝えられているところであり、この10年余で、東海三県と関西を主に17支部が設立され、地域に根ざした活動が進みつつあるのは、喜ばしいところでもあります。

大学では、現在建築学科が使用している4号館の改築等のキャンパス整備計画が進められており、今年5月に着工、平成25年4月より新しい学舎に移動する予定との事です。

3月18日には卒業式が行われ、160名を超す建築学科卒業生の中から各研究室の優秀者に同窓会賞の授与(平成13年より実施)もされ、同窓会と建築学科が相互の関係を深めると共に、在校生の意欲と意識の高揚に期待するものであります。

同窓生皆様のお力添えは言うに及ばず、学生や先生方との連携も密にし、建築学科の発展と共に、同窓会としての活動を行うことが出来るように努力したいと思います。建築同窓会設立50周年事業を2年後には開催予定しており、皆様の熱き声援と物心両面にわたるご支援をよろしくお願い申し上げます。



建築同窓会会長
小木 曾森司
(理・建・S48年卒)

数学会

数学会会長 **中山 俊一** (理・数・S32年卒)

2008年以来、アメリカのサブプライムローン崩壊に端を発した世界経済の停滞は、学生の就職活動にも影響し、その現状は大変厳しくなってきた。マスコミでは、一昨年から就職氷河期という言葉を使っている程である。

数学会では、昨年に続き今年も就職支援として月一回の割で、各企業の社長、部長、人事の方々に大学にお呼びして、数学科の学科長はじめ、就職委員や、授業に支障のない先生方との間で企業交流会を開催し、それから2週間ぐらい後、企業の人事部長はじめ数名の方々による学生への就職説明会を独自で行っている。内定をもらった学生も多数いる。

これからも数学会の活動の一環として、この支援を続けていく所存である。

材料会

材料会は2004年4月に材料機能工学科の第一期卒業生をメンバーに発足しました。2011年4月に設立7年目を迎えた、まだ8年目が始まったばかりの非常に若い同窓会組織です。他研究科同窓会を見習って、ここ数年でようやく同窓会らしい活動ができるようになりました。

毎月の定例会役員会をはじめ、材料機能工学科の実感教育、ソフトボール大会、卒業記念事業や、卒業研究発表優秀者表彰への支援活動、また昨年は、材料機能工学科創設10周年記念事業への支援についても行いました。さらに昨年は、各研究室主催の交流会(忘年会・新年会)への支援を始めました。これは卒業生を大学に呼び戻して在校生と触れ合ってもらうことを目的とし、卒業生を招待して催される各研究室主催の交流会に対して行いました。今年度は、ホームページを通じた会員(在校生・卒業生)への頻繁な情報発信や、会員への奨学金制度などについて検討していく予定です。



材料会会長
飯島 祐樹
(理・材・H19年卒)

名城大学 技術士会の紹介



名城大学技術士会会長 高木 理仁 (理・土・S48年卒)

名城大学技術士会は、名城大学を卒業した技術士及び第二次試験合格者、技術士補及び第一次試験合格者並びにJABBEコース修了生など、170名(平成23年6月現在)の会員で構成されています。

本会は、(社)日本技術士会の理念のもと技術士に資する活動を行うとともに、母校名城大学の発展に寄与するため、技術情報の交流・連携・教育・研究への支援を行い、併せて地域社会に貢献することを目的に、平成20年2月に設立され今年で4年目を迎えます。

具体的な活動内容は、①年間2回の講演会の開催 ②技術士受検対策講座の開設として、1)受検対策講座及び個別相談会 2)二次試験筆記試験対策講座 3)二次試験口答試験対策講座、③JABBEコース修了生及び技術士補試験合格者への指導技術士の紹介 ④大学技術士会連絡協議会との連携(平成23年3月現在の加入大学は全国で18の大学技術士会が加入、現在、中部地区では名城大学と名古屋工業大学が設立し参加)などの活動を行っています。

名城大学技術士会のこれまでの主な活動として、①技術士取得支援として

は平成20～22年の3年間で10名の技術士の誕生をみることが出来ました。平成22年度は5名の二次試験合格者に対して、筆記試験及び口答試験対策講座を実施し4名方が見事合格者されました。

②講演会活動としては、平成22年11月に第6回名城大学技術士会講演会を、本学大学院理工学研究所教授であり、カーボンナノチューブの発見者であります飯島澄男先生をお迎えし、名城大学名駅サテライト(通称MSAT)で、理工学部の在学生及び卒業生の皆様150名の参加を得て「先生の研究内容と技術者へのメッセージ」と題してご講演を頂き、成功裡に講演会を終了する事が出来ました。

また、第7回講演会を平成23年6月に技術士会総会に合わせ、名城大学太白キャンパス11号館で、本学都市情報学部教授の若林拓史氏をお迎えし「地震災害と交通システムの危機管理」と題してご講演を頂きました。東日本大震災を経験した今、貴重な講演会となりました。

ここで、技術士について説明させていただきます。

技術士の資格とは

技術士とは文部科学省の登録を受けた国家資格で、技術士の名称を用いて、科学技術の高度な専門応用能力を必要とする事項について、計画・研究・設計・分析・試験・評価、またはこれらに関する指導業務を行うものをいいます。

技術士の仕事とは

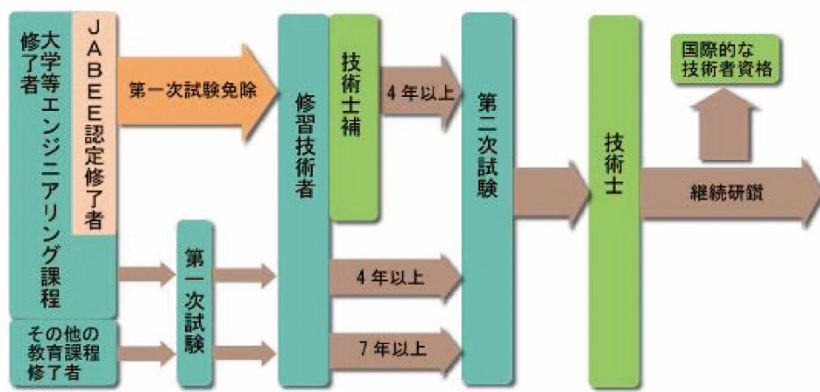
技術士は科学技術のコンサルタントです。技術に関する研究・開発・設計・

評価の指導や相談、製品の品質や製造工程の効率改善、プロジェクト計画の策定や管理、事故の原因調査や損害査定などを行います。

*現在、建設コンサルタント業務においては、これを行う上で、技術士は必須の資格となっており、技術士を保有していないと受注できませんし、入札の参加資格もありません。

技術士になるには

文部科学省が毎年実施する国家試験(技術士第二次試験)に合格すれば技術士になります。



*ちなみに平成22年度の、技術士第一次試験合格者は各部門平均で37・0%、第二次試験合格者は14・8%の狭き門となっています。

さて、名城大学理工学部では8学科がJABBEの認定を受けています。

JABBEとは「日本技術者教育認定制度」で、大学など高等教育機関で実施されている技術者教育プログラムが、社会の要求水準を満たしているかどうかを、外部機関が公平に評価し、要求水準を満たした教育プログラムを認定する専門の認定制度です。

ちなみに、JABBE認定プログラム修了者は文部科学大臣の指定を受け、技術士の第一次試験が免除されます。

名城大学理工学部の在学生の皆様には、社会に出て必ず役に立つ技術士取得にあたり、第一次試験が免除となるJABBE認定修了者となれることをお願いします。

名城大学技術士会はこれまでの様々な活動を踏まえ、名城大学及び理工学部さらには理工同窓会との連携も強化され、名城大学技術士会の意義・活動は益々重要視され、名城大学技術士会に対する期待は高まっています。

この様な状況を踏まえ、在学生及び卒業生の皆様には技術士の資格取得に向け積極的な取組を期待いたします。

そのおりに、名城大学技術士会に所属する113名の技術士の中から、選りすぐった講師陣が熱心に指導致します。もちろん無料で対応させて頂きますのでよろしくお願い致します。

最後になりましたが、名城大学の益々のご発展を祈念いたしまして、名城大学技術士会の紹介とさせて頂きます。

理工各科同窓会案内

電気会

会長 伊藤 栄

新春懇談会

日時：平成24年1月21日（土）

場所：名古屋ガーデンパレス

16:30 から受付

第1部 ミニ講演会 17:00~17:45

講師 OB シーテック

「風力発電について」 予定

第2部 パーティー 17:45~20:00

機械会

会長 澤柳正道

新春交流会

日時：平成24年1月28日（土）

会場：名古屋ガーデンパレス

交通
機械会

会長 高垣満正

新春賀詞交換会開催

日時：平成24年2月4日（土）17：00～

場所：名古屋駅前 東天紅

土木会

会長 高木理仁

年末情報交換会

日時：平成23年11月25日（金）予定

場所：レセプションハウス名古屋通信会館

建築
同窓会

会長 小木曾森司

新春情報交換会

日時：平成24年1月20日（金）18：00～

場所：アイリス愛知

**理工同窓会・各学科同窓会・技術士会の
ホームページが出来ました!**

理工同窓会	http://meijo-rikou-dousoukai.jp/
〈各学科同窓会・技術士会〉	
数 学 会	http://math.meijo-u.ac.jp/sugakukai/
情 報 会	http://www.meijo-johokai.org/
電 気 会	http://meijo-rikou-dousoukai.jp/denkikai
材 料 会	http://meijo-rikou-dousoukai.jp/zairyoukai/top.html
機 械 会	http://meijo-rikou-dousoukai.jp/kikaikai/
交通機械会	http://www.geocities.jp/traffic_ob_meijo_u/
土 木 会	http://meijo-rikou-dousoukai.jp/dobokukai/
環 境 会	http://meijo-rikou-dousoukai.jp/kankyokai/kan_gyojiyote.html
建築同窓会	http://meijo-rikou-dousoukai.jp/kentiku/
技 術 士 会	http://meijo-rikou-dousoukai.jp/gijutusikai/

監査	監査	学内幹事	学内幹事	学内幹事	学内幹事	学内幹事	学内幹事	幹事	幹事	幹事	幹事	幹事	幹事	幹事	幹事	幹事	幹事	幹事	幹事	幹事	幹事	幹事	常任幹事	常任幹事	常任幹事	常任幹事	副会長	副会長	副会長	副会長	副会長	会長	役職		
小池	小林	内田	大江	新井	鈴木	池邊由美子	杉山秋博	永井功	下地康夫	石川豊	鈴木隆	田島功	岩間守正	小川芳孝	中尾達郎	水谷芳裕	松岡道弘	祖父江力三	岩室隆	開米和明	小牧厚哉	青山悟	片野泰行	前島利夫	渡辺颯造	飯島祐樹	坂井孝太	中山俊一	小木曾森司	高垣満正	高木理仁	伊藤栄	澤柳正道	岩崎征一	氏名 学部・回生
晋也	信之	達弘	俊美	宗之	秀和																														
材・H20	土・H8	数・S54	電・S42	建・S49	情・H21	材・H21	土・S49	環・H17	建・S47	建・S47	土・S46	土・S48	交・S50	交・S48	材・H22	材・H20	機・S42	機・S45	電・S45	電・S47	情・H23	情・H23	数・H42	数・H16	環・H19	材・H21	情・H21	数・S32	建・S48	交・S48	土・S46	電・S50	機・S41	建・S41	

平成23年度
理工同窓会役員名簿
(任期・平成23年4月～平成24年3月)